

セブンスデー・アドベンチスト教団



アドベンチスト

はらしゆく

February



「誰の手に？」

東京中央教会副牧師 花田 憲彦

わたしはまた主の言われる声を聞いた、「わたしはだれをつかわそうか。だれがわれわれのために行くだろうか」。その時わたしは言った、「ここにわたしがおります。わたしをおつかわしてください。」(イザヤ6:8)

私達が信じている神様は、生きておられます。生きておられるということは、「存在感」をもっておられるということです。私達はその神様の存在を身近に感じているのでしょうか。全宇宙に対して圧倒的な存在である神様の存在を感じることなく日々生活しているとしたら、何ともつたない人生を送っていることでしょうか。

生きた神様との現実的な交わり。そこから生まれる「信仰のリアリティー」は私達が一番必要としているものです。もし神様の存在を知らなければ献身はありえないからです。

オーストラリアの友人から、このようなメールが送られてきました。

「誰の手に？」

私が手にしているバスケットボールは19ドル。/マイケル・ジョーダンが手にしているバスケットボールは3,300万ドル。/それは誰の手の中にあるかによる。

私が手にしている野球ボールは6ドル。/マーク・マグアイアが手にしている野球ボールは1,900万ドル。/それは誰の手の中にあるかによる。

私が手にしているテニス・ラケットは役立たず。/ピート・サンプラスが手にしているラケットは全英選手権で大活躍。/それは誰の手の中にあるかによる。

私が手にしている杖は野獣を追い払う。/モーセが手にしている杖は広大な海を分ける。/それは誰の手の中にあるかによる。

私が手にしている石投げ器は子供のおもちゃ。/ダビデが手にしている石投げ器は強力な武器。/それは誰の手の中にあるかによる。

私が手にしている二匹の魚と五つのパンは、二匹のフィッシュ・サンド。/神が手にしている二匹の魚と五つのパンは、数千人を養う。/それは誰の手の中にあるかによる。

私が手にしている釘は椅子を作り出すかもしれない。/キリストの手に打たれた釘は、全世界に救いをもたらすだろう。/それは誰の手の中にあるかによる。

だから、あなたの関心ごとや、恐れ、希望、夢、家族、人間関係を神の手にゆだねることは賢いことだ。

なぜなら、……それは誰の手の中にあるかによるのだから。
(作者不詳、花田訳)

私達は、自分自身の人生を、自分の手に握り締めたままにしていないでしょうか。神様が与えてくださる無限の可能性を、自分の手の中で握りつぶしてしまっていないでしょうか。神様は私達が感じているより、考えているより、想像しているより、はるかにはるかに大きな方です。東京中央教会を通して、そしてあなたを通して、私達の思いをはるかに超えた素晴らしいことを現実になそうとしておられる方です。主は生きておられるのです。

主は言われます。「わたしはだれをつかわそうか。だれがわれわれのために行くだろうか」。私たちにできることはただ、この語りかけに応えることだけです。「ここにわたしがおります。わたしをおつかわしてください。私の人生をあなたの手ゆだねます」と。

生ける主よ、どうぞ、わたしたちを用いてください!

なかのさい
 ～ 中野西さん、バプテスマおめでとう！ ～

「神の御手に導かれ」

中野西 章司



初めて聖書を見る機会を得たのは、かれこれ20年くらい前のことだったと思います。一度東京に出て働いたのですが、仕事がつまらなくて、田舎にUターンしました。しかし田舎での生活は、何の刺激もなく、中途半端な生活が続き、このままでは人生終わってしまう、もっと自分の可能性を見つけたいと思い、家出をして再び東京へ。ころがりこんだ先の友達がたまたま統一教会のビデオセンターに通っていて、ちょうど空しい時でしたので、私もすっぱりとはまっけてしまいました。そこで初めて聖書という書物の内容を知り、昔から、自分はどのようにして生まれて来たんだろうとか何のために生きているのだろうということを考え続けていたので、神が人間を創造したという言葉には、なるほどな～と思いました。

それから約7年間に及ぶ統一教会での生活が始まりました。この世とは隔離された生活で、非常に刺激的だったので、何度か離れようと思いましたが、そのまま居続けてしまいました。しかし、やがて合同結婚式に出たとき、その意義がどうしても理解できず、これを機に夢からさめるように離れることができました。

その後、聖書や祈りとは無縁の生活をしていましたが、原宿で初めての個展をすることになり、1週間、会場に通ううち、SDAの教会の英語学校の看板が目にとまりました。教会の英語学校だから安いだらうし、英語でも勉強しよう、...そんな気持ちがきっかけで教会に通うようになりました。

バイブルクラスのマーク先生のお話はとても面白くて、聖書を分かりやすく教えて下さるので、長い間通うことができました。これだけ中身のあるクラスでなかったら、とくに教会に来なくなっていたかも知れません。

それから、四、五年たちますが、神の救いのみ手は限りなく、「アメージング・グレース」です。...今の気持ちをご指定の字数でまとめるのは非常に難しいことです。どうか私の感謝の念を、皆さんの信仰で補ってお汲み取り下さい。

(2001.12.15 受浸)

聖句と私

園田 正憲

「神は、神を愛する者たち、すなわち、ご計画に従って召された者たちと共に働いて、万事を益となるようにして下さることを、わたしたちは知っている。」(ローマ8:28)

かつて交通事故で病院のベッドに臥していたとき、母がたまたま開いたページの中から、この聖句が目飛び込んできました。これによって私は、自分の歩む人生に確信を持ちました。しかし人間は弱いもので、いつも神様から豊かな祝福を受けているにも拘らず、不安や悩みをもってしまいます。私もご多分にもれず、約10年前から、悩みを抱えるようになり、毎日毎日祈ってきたことがありました。しかし、神様はまたしても、私の祈りに応えて下さって、結論を出して下さいました。しかも、私が希望した通りに、です。パウロは、この聖句の中で、「...わたしたちは知っている。」と確信をもって述べています。すべてを神様に委ねるとき、私たちはすべての不安や悩み、恐れから解放され、心穏やかな生活を送ることができます。主は、今生きておられる主は、あなたを用い、また私を用いて、万事を益として下さることを私は改めて知りました。

～ 2002～2003年の抱負 ～

心をひとつにして、前進！

－ 新役員から皆様へ －

「ワクワクしています」－ 新年度の役員が決まったときの板東先生のお言葉です。「新しい方々も増えましたし、チーフの皆さんが張り切っておられるのが何より心強い。音楽部門と児童伝道部門の体制を変えましたが、きっと、よりよい働きをしていただけたと思います。」個人的な事情の変化などのために今回は辞退なされた方々、ご苦労様でした。またいつか、復帰して下さることを期待しています。－ 今回から、役員の任期は2年となりました。1年延びたわけです。計画も立てやすくなったのではないのでしょうか。新年度に向けての、チーフの皆様のメッセージをお届けします。[それぞれ 印はお好きな聖句、 は愛唱賛美歌です。]

「よき働きをなさしめ給え」

[男性執事] 森武 正浩

心を尽くし、魂を尽くし、力を尽くして、主を愛し、また、自分自身を愛するように隣人を愛せば、私たち全ての兄弟姉妹にとって安息日は喜びの日となることでしょう。皆様のご理解のもと、執事一同、与えられた執事としての役割を自然体で携わせていただいております。ご要望やお気づきの点がありましたら、お気軽に執事のメンバーに声をおかけ下さい。今年もどうぞよろしくお願いたします。

「マタイ」25：40（わたしの兄弟であるこれらの最も小さい者のひとりにしたのは、すなわち、わたしにしたのである。）

136番（血しおしたたる、主のみかしら）

をみなさんで話し合っ、ひとつになって働きをしていきたいと思ひます。人数的に不足してはいますが、みんなで重荷を負い合っ、楽しい働きが出来ればと思ひます。手薄なところは、みなさん助けて下さい。ご意見がありましたら、ぜひお聞かせ下さいませ。

「ペテロ」2：9～10（しかし、あなたがたは、選ばれた種族、祭司の国、聖なる国民、神につける民である。それによって、暗やみから驚くべきみ光に招き入れて下さったかたのみわざを、あなたがたが語り伝えるためである。あなたがたは、以前は神の民でなかったが、いまは神の民であり、以前は、あわれみを受けたことのない者であったが、いまは、あわれみを受けた者となっている。）

291番（主にまかせよ、汝が身を）

「よき架け橋に」

[音楽委員会] 佐々木 誠

「皆様、あけましておめでとうございます」とかいう挨拶もできぬまま、もう2月、時の経つのは本当に早いですね。

さて、今年から音楽委員会なるものが設立され、初代の委員長に選任されたわけですが、この委員会いったい何をするとおられるのでしょうか。実は私自身もよく整理できていないのが本音です。ただ、現在の中央教会には音楽のタレントがたくさんあります。また、教会の中で

「ひとつ思いになっ」

[女性執事] 今 米子

新しい年を迎えました。今年、これまで働いて下さった5名の方々が、それぞれ他に移られました。本当にご苦労様でした。それにかえて4名の方（内2名は執事は初めてという若い方）が加わって下さいました。感謝です。昨年の計画が思うように進行せず、一年が過ぎてしまいました。改めて今年こそ実行に移したいと考えています。訪問、声かけ、私たちの出来ること

さまざまな音楽が響き始めています。これは本当に素晴らしいことだと思いますし、この流れを、もっともっと広げていきたいと思っています。また、教会自体わりと大きな組織ですから、音楽の部門においてそれぞれの横のつながりが薄くなりがちです。そんな中で、平たく言えば、それぞれの部門の架け橋といえますか、小間使いといえますか...まゝ皆さんで好きに使ってやってください。ともかく、この教会中に素敵な音楽がいつもいつも鳴り響いていることを夢んでいます。どうかこの新しい委員会のために祈りください。

「テサロニケ」5:16~18(いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべての事について、感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって、神があなたがたに求めておられることである。)

456番(ひと日を終え、ねむるとき)

「心をひとつにして」

[安息日学校] 寺内 雅子

「この日、人は手の業を休め、世界はすでに創造されて人の助けなくして動いていることを知る。6日間、私たちは世と戦い、地より利を受ける。安息日は魂に蒔かれた種の世話をする。この世は私たちの手にあるが、魂はほかの偉大な力に属す。6日間、私たちは世を支配することを求めるが、安息日は自分を治めることを求める」(アブラハム・ヨシュア・ヘシェル) 安息日学校スタッフは魂に蒔かれた種のお世話係。今年も太陽のような笑顔といのちの水を注ぎ、とっておきの養分(お楽しみ)を与えましょう！ミタコトモナイ、ハナガサクデショウ~

「イザヤ」60:1(起きよ、光を放て。あなたの光が臨み、主の栄光があなたの上にのぼったから。)

516番(主イエスを知りたるうれしきこの日や)

「いつでも、どこでも、だれにでも、イエス様を！」

[信徒伝道会] 園田 正憲

「聖霊があなたがたにくだる時、あなたがたは力を受けて、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、さらに地のはてまで、わたしの証人となるであろう。」とイエス様は弟子たちにおっしゃいました。東京砂漠といわれる大都會の中で、心の貧困に喘ぎ、飢えている人がたくさんいます。私達は、そういう方々に、命の泉であるイエス様のところまでお連れする義務があります。教会員それぞれに与えられている霊の賜物を用いて、主イエスを力強く証ししていきましょう。だれでも皆、家庭や近隣において伝道者となることができます。いつでも! どこでも! だれにでも! イエス様を掲げましょう。

好きな聖句(P.2「聖句と私」をごらん下さい。)

たくさんあって迷いますが、243番(ああ主のひとみ、まなざしよ)

「37+3でスタートします」

[児童伝道委員会] 田村 尚子

おかげさまで、多くのスタッフが集まりました。神様の御祝福を感謝いたします。ご承知のように、四月からは、学校は土曜日が休日となります。授業時間、授業内容削減とあって、ご父母の中には土曜日をどのように過ごさせたらよいのかと案じている方があるとも聞いております。

もしそんな方がいらっしゃいましたら、当教会の「こども安息日学校」をお勧め下さい。イエス様の愛をお届けできるよう、スタッフ一同できるかぎりの準備を整えてお待ちしております。午前中は「安息日学校」、午後は「小羊クラブ」。パスファインダーも加わります。英語学校では、英語によるこどもバイブルクラスも始まりました。夏期聖書学校、こどもクリスマス、共通行事も決まりました。今年目標は100人

です。どうぞあなたの祈りに加えて下さい。

「創世記」1：1（はじめに神は天と地とを創造された。）

526番（主よ、わが主よ、愛の主よ）

「いと小さき働きなれど」

[福祉会] 渡部 正廣

福祉会はお年を召された方の多い会ですが、皆様お元気で、少しでもお役に立ちたいと、積極的なお気持ちで参加、協力して下さい、頭の下がる思いをいたしております。

福祉会活動は、外部に対するものと、内部に対するものと、二つに分けられます。

外部としては、山谷伝道所に対する物的な支援と、バザーのための裏方の作業である、献品整理、中古衣料の値段つけがあります。

また内部的には、教会に出席したくても出席出来ない方々に対して、礼拝テープの贈呈、そして、訪問・手紙・電話などを通して、お交わりをさせていただくことなどあります。

いと小さき働きですが、今年も役員一同、心から励んでまいりたいと思っております。皆様方のご協力をお願い申し上げます。

「マタイ」6：33（まず神の国と神の義とを求めなさい。そうすれば、これらのものは、すべて添えて与えられるであろう。）

404番（山路越えて）

「外の方の参加も促す 魅力的なプログラムを」

[家庭会] 熊谷 幸子

社会的不安が増す一方の昨今、人々の心がかつてなく家庭に向けられたとメディアは伝えています。しかし依然、隠された深い傷を抱え苦しんでいる家庭も少なくありません。

家庭の節目々々で起こる問題を取り上げ、少しでも解決のヒントとなるべく、家庭会では2

年間に6回の「家庭セミ」を中心に企画、講師とも交渉中です（うち3人内定）。信徒以外の、また他教会の方々にも広くPRし、同じ問題について共に考え、共に励まし合える場、希望に繋げる機会を作りたい。まずは教会の敷居を低くする処からの出発です。フレッシュな人材が与えられ、皆やる気十分で感謝。家庭がそうであるように焦らず、一つずつみ心に叶ったものを積み上げていきたいと祈っています。

「幸福な家庭とは、問題のない家庭ではなく、問題を解決する能力のある家庭である」（キリスト者で医師のP.トゥルニエ著『結婚の障害』より）
《家庭会のテーマナンバーと聖句》

520番（しずけき河のきしべを）

「ヨハネ」3：18（子たちよ。わたしたちは言葉や口先だけで愛するのではなく、行いと真実とをもって愛し合おうではないか。）

「ガラテヤ」5：13,14（兄弟たちよ。あなたがたが召されたのは、実に、自由を得るためである。ただ、その自由を、肉の働く機会としないで、愛をもって互に仕えなさい。律法の全体は、「自分を愛するように、あなたの隣り人を愛せよ」というこの一句に尽きるからである。）

「任期2年の利点を活かして」

[青年会] 斎藤 麻美

「青年会が教会の祝福となり、教会を元気づける力となる。」これが私に与えられたビジョンです。そのためには青年の青年に対する働きも必要ですし、教会全体のために働くことも重要です。今考えている活動案は修養会、青年講演会、スポーツ大会、礼拝前の讃美リード、病気の方々の訪問などです。これら全てを出来るかどうかは分かりませんが、任期が2年となった利点を活かして、無理なく喜んで活動できたら良いと思っています。私たち青年を通してしか出来ない神様の働きを一つ一つ御心を求めて進めさせて頂きたいと思っております。どうぞよろしく申し上げます。

「エレミヤ」29: 11 (主は言われる、わたしがあなたがたに対していただいている計画はわたしが知っている。それは災を与えようというのではなく、平安を与えようとするものであり、あなたがたに将来を与え、希望を与えようとするものである。)

520番 (しずけき河のきしべを)

「みんなパスファインダー」

[パスファインダー・クラブ] 橋本 笙子

パスファインダー(以下、PFC)は約50年前にアメリカで、教会員の子弟を育成する機関として生まれました。日本にできて37年目を迎えます。ここ数年は会員、指導者の減少が大きな問題となっています。その中で今年、原宿PFCは以下の活動方針を考えました。

安息日の集会の充実 - 4月の完全週休2日制を考え毎月第2土曜日を集会日とし、児童伝道部門と提携した集会をもつ。

会員制の廃止 - 今までのような完全会員制を廃し、だれでも参加したいときに参加できるクラブへ。

集会内容を充実させることも急務だと考えています。多くの子供たちがイエスさまに出会うことができるように、初心に立ち返ってがんばりたいと思います。

「ヨシュア記」1: 9 (わたしはあなたに命じたではないか。強く、また雄々しくあれ。あなたがどこへ行くにも、あなたの神、主が共におられるゆえ、恐れてはならない。おののいてはならない。)

好きな讃美歌はたくさんあるのですが、今回は「キリストにはかえられません」(第二讃美歌・195番)

「神様に守られて」

[英語学校] 府録 智子

去年6月末にやっと先生が二人揃い、はや半年が過ぎました。生徒も順調に増え、1月現在71人が在籍しています。今年は、教会に「児童伝道委員会」が出来ましたが、英語学校で

も、一月から月1回第四月曜日に、子どものための「バイブルクラス」を始めることにしました。1月28日に行ったバイブルクラスには、16人の子供たちが来てくれました。今月は25日です。是非お友達のお子さんをお誘い下さい。また、皆さんに英語学校の活動をお知らせするために、3か月に1回、「英語学校新聞」を発行しています。12月に第1号を発行し、次回は3月の予定です。いつも皆様のお祈りに支えられています。ありがとうございます。今年もひきつづき、英語学校のためにお祈り下さい。

「ピリピ」4: 4~9 (あなたがたは、主にあっていつも喜びなさい。...あなたがたの寛容をみんなの人に示しなさい。主は近い。何事も思い煩ってはならない。ただ、事ごとに、感謝をもって祈と願いとをささげ、あなたがたの求めるところを神に申し上げるがよい。そうすれば、人知ではどうも測り知ることのできない神の平安が、あなたがたの心と意思とを、キリスト・イエスにあって守るであろう。...【以下略】)

338番 (主よ、おわりまで仕えまつらん)

「教会のスポークスマンとして」

[コミュニケーション部] 前中 靖司

コミュニケーション部の主な仕事は、毎月第一安息日に「はらじゆくニュース」を発行することです。今月号は182号で、年数で言えば、すでに13年目に入りました。今年は、2名の新メンバーを迎え、仕事の幅を広げていきたいと思っています。具体的には、「はらじゆくニュース」のいっそうの充実とホームページの充実が挙げられます。部員一同、力を合わせて頑張りますので、よろしくお願い致します。

「コリント」10: 13 (あなたがたの会った試練で、世の常でないものはない。神は真実である。あなたがたを耐えられないような試練に会わせることはないばかりか、試練と同時に、それに耐えられるように、のめられる道も備えて下さるのである。)

271番 (いさおなき我を血をもて贖い)

原宿彩彩

「笑顔がいっぱい」の結婚式 -

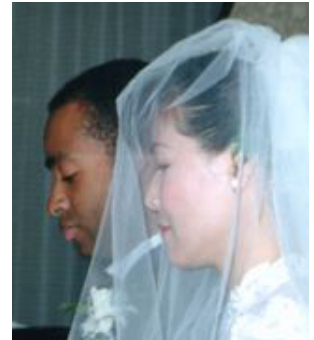
今日子先生 & J.ウォーターズさん、おめでとう！

快晴の1月14日、武井今日子副牧師と、TICのジェフリー・ウォーターズさんの結婚式が、マーク・デュアート牧師の司式により礼拝堂で行われました。開始早々、ゲストで溢れんばかりの式場は、ヴァージンロードをスズスズと歩む小紳士、パイブルボーイのティモシー・デュアート君(3歳)のあまりの愛くるしさと、フラワーガール平野萌香ちゃん(5歳)の文字どおり花のように可憐な姿に沸き、誰もが頬をゆるめてニコニコ。そして、心の底からこみあげてくる喜びを抑えきれないように輝くばかりの笑みを満面に浮かべて、花嫁がお兄様とともに入場、迎える新郎のこれまた最高に明るい笑顔に、場内は祝福と幸福感に包まれました。続いて、祝いの歌(遠田きよみさんほか) デュアート牧師の式辞、誓約、祝祷、祈りの歌(新田聡さんほか)…。厳粛さの中にも晴朗な雰囲気溢れる素敵な式となりました。新郎新婦退場後は、スライドによるお二人の「成長アルバム」が紹介され、式場は笑いと拍手の繰返し。なお、このあと1階集会室で開かれたティーパーティーでは、お二人がご挨拶の折、互いに相手のスピーチを通訳し合うという愉快な一幕もあり、一方、新郎新婦を囲む記念撮影にあちこちでカメラが大活躍、大いに盛り上がりました。挙式後「とても一体感のあるお式でしたね」ともらされた、あるゲストの言葉が印象的でした。

*「宝」の祝福

教会の特別な宝は「大先輩」と子どもたちですよね。年初の安息日、その「宝」さんたちから、また格別の祝福をいただきました。まず1月5日。礼拝堂の右最後列には、お久しぶり、伊藤冬子さん(97)の、あのこぼれるような麗しい笑顔が。そして、井上澄さん(94)も温顔ほこるばせて軽やかな足取りでお見えになりました。とりわけお二人の周りは笑顔また笑顔…。お正月らしい幸せな気分倍増でした。(14日には更に倍増！伊藤さんは武井先生とJ.ウォーターズさんの結婚式にもお見えになったのです。そして19日(土)にも！今年もどうぞお逢いで！)

12日は、子どもたちから…。礼拝時の橋本笙子さんのお話には、いつも以上の思いがけない応答続出に笑声しきり。そして午後は、元気溢れる掛け声のなかお餅つき。大勢がご相伴に預かりました。一方、聖堂ではこんな光景も…。礼拝後、やや高齢のおじさまが椅子を二つ抱えて運ぼうとしたら、居合わせた小笠原瞳ちゃん(8)が「二つ一緒なんて、無理しちゃダメ！一個は私が運んであげる！」諫められての嬉しそうなおじさまの顔が見ものでした。さて、この日は「本紙&週報発送日」。役員会が重なり人手が不足気味でしたが、集会室では、佐々木優雅・亮雅君(6)が真剣な表情でお手伝い。その仕事ぶりの丁寧なこと！大感謝でした。教会は、今年も端から祝福たっぷりのようです。



はってまえ
初点前化粧総じて濃いめかな
誰にでも尾を振る犬や凧揚る
ゆきもよい
雪催帰農の一家発つと言ふ

(武國)

牧師によるバイブル豆事典

「ねたむ神」

「主は遠くから彼に現れた。わたしは限りなき愛をもってあなたを愛している。それゆえ、わたしは絶えずあなたに真実をつくしてきた。」(エレミヤ31:3)「限りなき愛」をもって愛してください。身震いするほどのラブコール(愛の告白)ではありませんか。神は「たなごころに彫り刻む」ほどに私たちを深く覚え(イザヤ49:16)「あわれみの綱、愛のひも」をもって導いてくださいます(ホセア11:4)。十戒は神のご品性の現れであると言われますが、モーセにそれがゆだねられた時、偶像を造ってはならない、決して拝むなかれと言われました。それは「主はその名を“ねたみ”と言って、ねたむ神だからであり(出エジ34:14)「焼きつくす火」だからです(申4:24)。神の「ねたみ」は否定的なものではなく、罪人に迫って来る「熱心」です。それは何かを手に入れようとして努めるほどの「熱心」であり、たとえるなら媒酌人が花嫁を得ようとして花婿のために行動する「熱心」です(コリ11:2)。それゆえにそれは罪人の愛を引き出し、罪の告白を促すものとなります。神様のラブコール、「ねたみ」は私たちに愛を「告白」させ、罪の「告白」と悔い改めを引き出し、ついには救いに至らせます。神様の「ねたみ」には決して無理や無駄がないのです。ちなみに、「告白」には「同意見の」という意味があります。神様の「愛の告白」に対して、わたしも同じくらいにあなたを愛しています、と「告白」させていただきたいですね。

(青森南集会所牧師 藤森大輔)

2月のスケジュール

- 2 / 2 (土) [説]川越勝牧師
役員会
- / 9 (土) [説]花田憲彦副牧師 & 子供の話
週報 & アドベンチストはらじゅく 発送
小羊クラブ 14:00 ~
- / 16 (土) [説]板東洋三郎牧師
讃美と証の会
理事会
- / 23 (土) [説]板東洋三郎牧師 & 子供の話
事務会 13:00 ~
小羊クラブ 14:00 ~
- / 24 (日) PFC 七福神巡りウォークラリー

教会のホームページを開設しています。

<http://www.sda.gr.jp>

エデン ED園だより

だいぶ前から、地球の温暖化のことをよく耳にするようになったが、我が家のベランダでも冬なのに大きな赤いアロエの花が咲いている。今年はミニシクラメンが出廻り、三色すみれに混じって赤やピンクの色が可愛い。ゼラニウムも桜草も元気に咲いている。美しい花々を冬でも外で楽しめるのはうれしいことだが、南方の小さな島では、海の水位が上がって海岸線が変わってきているようで、非常にゆっくりした速度だろうと思うけれど、気になることだ。

(T.S.)

発行：東京中央教会コミュニケーション部 * 発行人：板東洋三郎 * 編集人：前中靖司
[住所] 〒150-0001 渋谷区神宮前1-11-1 03-3402-1517
* スタッフ：久木田明夫・佐藤敏子・寺内雅子・芳賀洋・平山茂子・森武靖子・山口保夫